

施策番号	1302		
施策名	子どものいのちと人権が大切にされるまちづくり		
概要	児童虐待対策と被虐待児をはじめとした養護等が必要な子どもへの支援を進めるとともに、障害や疾病等のある子どもに対して成長に応じた切れ目のない支援を行う。		
担当局・部室	子ども若者はぐくみ局・子ども若者未来部	共管局・部室	
上位政策	13 子育て支援		
施策に関係する 主な分野別計画等	京都市未来こどもはぐくみプラン(2015～2019)		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名		平成 29年度	平成 30年度	令和元年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標の ウエイト
1	虐待相談に対し速やかに対応(48時間以内)した件数の割合(%)	b	b	98.4	97.9	100	97.9%	b	1.00
2	虐待相談ホームページアクセス件数(件)	b	a	289,338	538,636	318,272	169.2%	a	0.50
3	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
		b	a	客観指標総合評価				a	

2 市民生活実感評価 *この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問		平成 29年度	平成 30年度	令和元年度回答						
				そう思う	どちらかと言 うとそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言 うとそう 思わない	そう思わ ない	有効回答 者数	評価
1	京都では、子どものいのちと人権が大切にされている。	b	b	52	235	279	56	31	653	b
				8.0%	36.0%	42.7%	8.6%	4.7%		
2	-	-	-							-
3	-	-	-							-
4	-	-	-							-
5	-	-	-							-
		b	b	市民生活実感調査総合評価						b

3 総合評価(客観指標総合評価＋市民生活実感調査総合評価)

A	施策の目的が十分に達成されている						
	重み付け	☒ 客観指標	a	☐ 市民の実感	b		
(重み付けの理由) 児童相談所における児童虐待防止という対象者が限られた施策であり、市民の生活実感に施策の効果が反映されにくいと考えられるため、客観指標を重視する。						平成30年度	A
(原因分析) 客観指標総合評価 ☒ b評価以上であり、施策の効果が客観指標に表れている。 ☐ c評価以下であり、次の原因が考えられる。						平成29年度	B
(原因分析) 市民生活実感調査総合評価 ☒ b評価以上であり、施策の効果が市民の実感に表れている。 ☐ c評価以下であり、次の原因が考えられる。							

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		令和元年度事務事業 評価結果における 目標達成度評価	担当局
		平成30年度 決算額	令和元年度 予算額		
1	学童クラブ障害児対策	115,903	117,345	良い	子ども若者はぐくみ局
2	育児支援家庭訪問事業	132,785	220,754	良い	子ども若者はぐくみ局
3	児童福祉施設措置費(児童)	28,978	22,154	普通	子ども若者はぐくみ局
4	子育て支援短期利用事業	55,671	56,894	良い	子ども若者はぐくみ局
5	児童福祉施設単費援護事業	18,661	19,406	普通	子ども若者はぐくみ局
6	養護施設・母子生活支援施設育成事業	1,550	2,770	普通	子ども若者はぐくみ局
7	身元保証人確保対策事業	2,814	1,001	良い	子ども若者はぐくみ局
8	児童虐待防止啓発事業	6,025	6,070	良い	子ども若者はぐくみ局
9	自立援助ホーム運営補助	10,111	12,376	悪い	子ども若者はぐくみ局
10	児童福祉施設等援護費	101,604	149,384	良い	子ども若者はぐくみ局
11	社会的養護自立支援事業	35,757	32,447	普通	子ども若者はぐくみ局
12	社会的養護関係施設機能強化補助事業	21,121	23,869	良い	子ども若者はぐくみ局
13	児童虐待対策の機能強化事業	0	224,869	—	子ども若者はぐくみ局
14	児童福祉センター管理運営	1,841,711	1,914,353	良い	子ども若者はぐくみ局
15	障害児保育対策	893,107	946,470	かなり良い	子ども若者はぐくみ局

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

・児童相談所に寄せられる虐待通告に対し、引き続き48時間以内の児童の安全確認を実施する。
 ・児童虐待の専門機関である児童相談所の対応力の強化を図っていく。
 ・子育て中の家庭を地域全体で見守り、支援することができる環境づくりに向けて、地域住民・関係機関に対する啓発の推進や、「こんにちは赤ちゃん事業」など、家庭訪問による子育て支援情報の提供や育児相談等を行う取組を推進し、子育て家庭の不安や負担感、孤立感の解消に努め、児童虐待の未然防止につなげる。
 ・現行の虐待相談ホームページが、開設後約10年が経過していることを踏まえ、コンテンツの更なる充実に向けた検討やホームページ以外の広報手段を含め効果的な情報発信に努めていく。

施策名	1302	子どものいのちと人権が大切にされるまちづくり
-----	------	------------------------

指標名	虐待相談に対し速やかに対応（48時間以内）した件数の割合（％）
-----	---------------------------------

担当課	児童福祉センター児童相談所	連絡先	801-2929
-----	---------------	-----	----------

1 指標の説明 虐待相談通告について、48時間以内に児童の安全を確認した割合
--

2 指標の意味 社会の宝である子どもの人権を守るための早急な対応状況を示す指標	3 算出方法・出典等 算出方法：虐待通告件数に対し、48時間以内に児童の安全確認ができなかった件数を差し引いた割合 出典：事業担当課調べ
---	---

4 数値						
	前回数値 平成29年度	最新数値 平成30年度	推移	数値	目標値 根拠	達成度
数値	98.4	97.9	0.5ポイント減	100	完全実施すべき数値	97.9%

	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値						

5 評価基準 最新数値の目標値に対する達成度が a：100% b：96%以上～100%未満 c：92%以上～96%未満 d：88%以上～92%未満 e：88%未満	6 基準説明 当該指標については、国の通知に基づき、48時間以内に被虐待児童の安全確認を行うことを原則としているため、100%をa、それ以下を4%刻みで設定した。	7 評価結果 <table> <tr> <th>平成29</th><th>平成30</th><th>令和元</th></tr> <tr> <td>b</td><td>b</td><td>b</td></tr> </table>	平成29	平成30	令和元	b	b	b
平成29	平成30	令和元						
b	b	b						

指標名	虐待相談ホームページアクセス件数（件）
-----	---------------------

担当課	児童福祉センター児童相談所	連絡先	801-2929
-----	---------------	-----	----------

1 指標の説明 児童相談所ホームページ「あした笑顔になあれ～子どもSOS児童虐待防止ウェブサイト～」のアクセス件数

2 指標の意味 社会の宝である子どもの人権の保護に向けた市民の関心度を示す指標	3 算出方法・出典等 算出方法：全数調査 出典：事業担当課調べ
---	--

4 数値						
	前回数値 平成29年度	最新数値 平成30年度	推移	数値	目標値 根拠	達成度
数値	289,338	538,636	249,298件増	318,272	前年度実績の1割増	169.2%

	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値						

5 評価基準 最新数値の目標値に対する達成度が a：100%以上 b：90%以上～100%未満 c：80%以上～90%未満 d：70%以上～80%未満 e：70%未満	6 基準説明 当該指標については児童虐待防止のため周知・啓発の強化を行っていることから、100%以上をa、それ以下を10%刻みで設定した。	7 評価結果 <table> <tr> <th>平成29</th><th>平成30</th><th>令和元</th></tr> <tr> <td>b</td><td>a</td><td>a</td></tr> </table>	平成29	平成30	令和元	b	a	a
平成29	平成30	令和元						
b	a	a						